

雌阿寒岳

○噴火前後の雌阿寒岳ポンマチネシリ火口底の比較

北海道新聞社の協力を得て、22日午前9時頃上空から雌阿寒岳の調査を行った。この際に得られた画像と、噴火1週間前に撮影したほぼ同アングルの画像との比較を行った。

- ・岩①に注目すると、その下半分が埋積されたように見える。
- ・全体的に火口底が平坦となり、やや浅くなったように見える。
- ・赤沼火口底には、泥池と思われる直径150m程度の表面がつやつやした領域が見え、放射状の流跡や割れ目がある(既報告:2006年3月22日の雌阿寒岳ポンマチネシリ火口底の様子)。



図1. 噴火翌日に南西上空から見た赤沼火口底の様子。北海道新聞社のヘリに搭乗。図2の岩②と③は未確認。



図2. 噴火1週間前の赤沼火口底南部および旧火口(右側のテラス)。南西方向より。北海道開発局のヘリに搭乗。